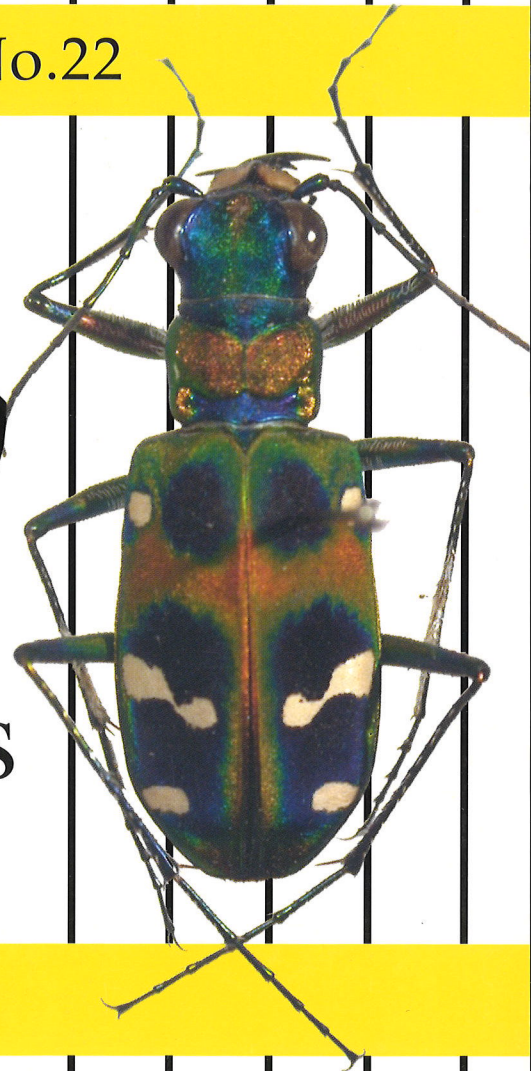


大阪の
ハンミョウ

The *Tiger* Beetles
of Osaka



～ 目 次 ～

はじめに 1

この本の使い方 2

<カラー口絵>

ハンミョウのいるところ 3

ハンミョウの見分け方

(絵解き検索) 4～8

<種類の説明>

①トウキョウヒメハンミョウ 9

②エリザハンミョウ 10

③コハンミョウ 11

④ヨドシロヘリハンミョウ 12

⑤シロヘリハンミョウ 13

⑥ミヤマハンミョウ 14

⑦アイヌハンミョウ 15

⑧コニワハンミョウ 16

⑨ルイスハンミョウ 17

⑩マガタマハンミョウ 18

⑪ニワハンミョウ 19

⑫ナミハンミョウ 20

⑬ホソハンミョウ 21

⑭ハラビロハンミョウ 22

⑮イカリモンハンミョウ 23

⑯カワラハンミョウ 24

<データ>

引用文献 25

大阪のハンミョウ・未発表データ 26

はじめに

ハンミョウは山道や砂地の上で、飛びまわったり走ったりする、美しくてカッコいい小さな甲虫です。漢字では「斑猫」と書きます。もともと中国では、毒のあるツチハンミョウ科の甲虫をさす言葉でしたが、日本にこの言葉が渡来するときに、間違えて伝わってしまったといわれています。中国ではもちろん斑猫とは呼ばず、黄色と黒の模様から「虎甲」と呼ばれています。英語でも「タイガー・ビートル」(tiger beetle)と呼ばれています。

ハンミョウは日本に24種が知られています。いずれも肉食で、地表でアリなどの小動物を襲って食べます。幼虫も肉食ですが、地面に小さな穴を掘って、その入口で他の小動物を待ち伏せします。種類によって、だいたひすんでいる場所が決まっています。山道や河原でよく見られますが、海岸の砂浜にすむ種類の中には、人間による自然の改変によって、絶滅にひんしている種類がいくつかあります。

この本では、本州にすむ16種とそれらの見分け方、また、大阪で分布が確認されているところについて、くわしく紹介しています。この本をきっかけに、これらの昆虫に興味をもち、また自然環境について考えていただく機会になれば、と願っています。

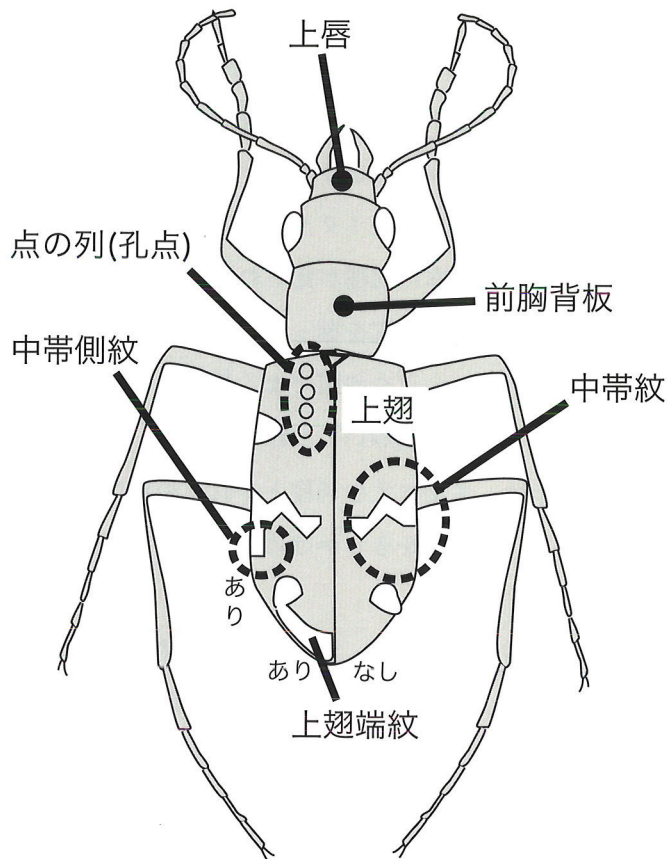
この本を作るにあたり、堀道雄さん、芦田久さんには原稿をお読みいただき、いろいろご指摘いただきました。室内実習「ハンミョウの見分け方」(2007年2月18日開催)の参加者のみなさんには、実際に標本を見ながら使っていただき、わかりにくい点など教えていただきました。博物館内のスタッフのみなさんには、誤植や構成のアドバイスなどをしていただきました。記して御礼申し上げます。

この本の使い方

野外でハンミョウを見たら、まず網で捕まえましょう。捕まえないと、種類はまずわかりません。そして4～8ページのカラー絵解き検索を使って、種類を調べてみてください。体の各部の呼び方については、右の図をごらんください。種類によって、模様や大きさはもちろん、すんでいる環境、出現時期などが、いろいろ違ってきます。

この本では個々の種類の解説で、大阪府での分布図、地点を記したほか、博物館の標本など未発表のものを中心に、くわしいデータを本の最後につけました。この本を改訂するごとに、どんどん新しく加えていきたいと思っています。そうすることで、ハンミョウのいろんなことが、より詳しくわかるようになるからです。

そのためには、できれば、野外で捕まえたら、標本をつくるように心がけてください。種類の区別は、思った以上に難しいものです。「△△山で○○ハンミョウを見たよ」という情報だけでは、この本で加えるデータには使えません。標本という証拠がないと信頼ができないからです。



ハンミョウのからだの各部の呼び方

ハンミョウの いるところ



- ① トウキョウヒメハンミョウ
- ② エリザハンミョウ
- ③ コハンミョウ
- ④ ヨドシロヘリハンミョウ
- ⑤ シロヘリハンミョウ
- ⑥ ミヤマハンミョウ
- ⑦ アイヌハンミョウ
- ⑧ コニワハンミョウ
- ⑨ ルイスハンミョウ
- ⑩ マガタマハンミョウ
- ⑪ ニワハンミョウ
- ⑫ ナミハンミョウ
- ⑬ ホソハンミョウ
- ⑭ ハラビロハンミョウ
- ⑮ イカリモンハンミョウ
- ⑯ カワラハンミョウ

白抜：
大阪府未記録
赤字：
大阪での絶滅種

北海道から九州で使えます

ハンミョウの見分け方

Key to the tiger beetles of Osaka

南西諸島には本書に掲載されていない種類が多くあります。

1

上翅に模様があるか？

何もない

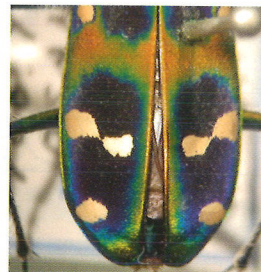
ある

⑪ニワハンミョウ (無紋型)



山地の裸地、河原、草地、路上などに多い。(ただし、無紋型は多くない)

⑫ナミハンミョウ



平地から低山地の裸地にふつう。

2

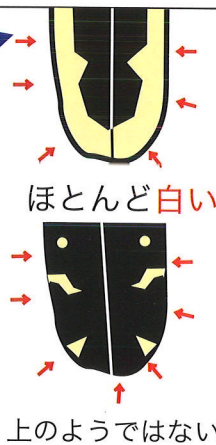
色は？

赤や紫が混じり美しい

緑や黒の地に白の模様

3

上翅の周囲は？



4

5ページ

7

6ページ

4 翅の模様は？

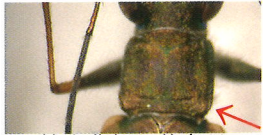
端に白いスジがあるのみ

真ん中あたりにもある

5 白いスジは？



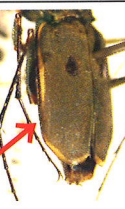
ときれない



前胸背板の後角は
出っ張らない

④ヨドシロヘリ
ハンミョウ

淀川河口など大阪府
では絶滅。
環境省・絶滅危惧II類。



ときれる



前胸背板の後角は
出っ張る

⑤シロヘリ
ハンミョウ

大阪府未記録。
和歌山県の岩礁海岸
には分布。

6 模様を絵合わせする

⑮イカリモンハンミョウ

海岸、
近畿での
記録はない。
環境省
・絶滅危惧I類。

体長12-15mm

⑯カワラハンミョウ

広い河原や
海岸の砂丘。
大阪府では絶滅。
環境省
・絶滅危惧II類。

体長14-17mm

⑭ハラビロ
ハンミョウ

海岸河口

太短い
ほぼ直角
先が強く
丸まる

体長12-14mm

⑫エリザ
ハンミョウ

細く張り出す
鋭く角ばる
丸くならない

体長9-11mm

⑬コハンミョウ

細く張り出す
ゆるい角
遊離する
ことが多い
丸くならない

体長11-13mm

7
2



⑪ニワハンミョウ
山地の裸地，
河原，草地，路上
などに多い。

上翅の模様
の数は？
4



8
タテ長
中帯紋は？
ヨコ長



⑬ホソハンミョウ
丘陵地・山地の
疎林・草原や
河原の草地，
少ない。

6

10
7ページ



⑩トウキョウ
ヒメハンミョウ
都市部の公園・墓地など。
関西では枚方市の記録のみ。



9
中帯紋は上翅端と？

離れる



⑩マガタマ
ハンミョウ
近畿で
記録なし。

8



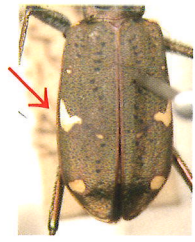
6

5ページへ戻る

複雑で
よく
わから
ない



くっつく



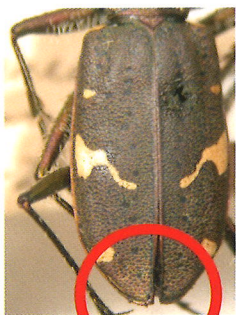
10
7ページ



10

上翅の先端に模様がある？

ない



ある



8 ページ

12

へ

11

口の上唇は？



強く前に張り出す

上翅の模様は下のaタイプのみ

⑥ミヤマハンミョウ



近畿での分布は確認されていない。



張り出さない

⑪ニワハンミョウ



山地の裸地，河原，草地，路上などに多い。

模様に変異が多い



a. 6 紋

b. 4 紋

c. 2 紋

d. 無紋

12

中帯側紋が？



ない

ある

13

太い

中帯紋は？

太くない



⑨ルイスハンミョウ

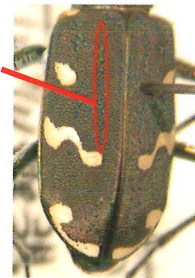
干潟海岸，河口など。
絶滅危惧II類。大阪府絶滅。

14

青く光る上翅孔点が？

ココ

ある



体長は大きく
(16-17mm)
体型がやや細長い

⑦アイヌハンミョウ

春季の中流河原。
局所的。

ない



体長は小さい
(10-13mm)
体型がやや太短い

⑧コニワハンミョウ

河川など乾いた砂質の
地表に多い。

6

5ページへ戻る

① トウキョウヒメハンミョウ

東京姫斑猫

Cylindera kaleea yedoensis

分布

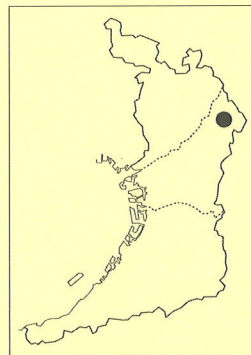
本州・九州。別亜種は沖縄、台湾、中国、インドシナに分布する。

出現期 夏



9-10 mm

小型のハンミョウで、もともと日本にいなかった移入種と考えられています。北九州や関東では、以前から分布が知られていましたが、関西では2004年に初めて見つかりました。



生息環境

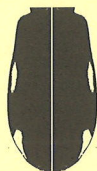
都市部の公園、墓地など。

大阪付近での採集記録

[北河内] 枚方市山田池公園

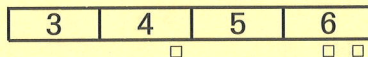
似ている種類と区別点

小さい体サイズや細長い体形は、⑬ホソハンミョウが少し似ているかもしれませんが。模様で簡単に区別できます。



⑬ホソハンミョウ

発生消長 (採集記録より)



■：多い □：少ない

② エリザハンミョウ

エリザ斑猫 (エリザは人名)

Cylindera elisae elisae

分布

北海道・本州・四国・九州；朝鮮半島、中国、シベリア南東部、モンゴル、チベット。伊豆諸島に別亜種が分布する。

■生息環境

海岸、河原、池などの湿った砂地。

■大阪付近での採集記録 (*は26~27ページにデータを掲載しています。)

[北摂] 箕面山、豊中市野畑 [淀川・大和川] 大阪市淀川畔、西中島*、新淀川大橋*、都島区(淀川)*、城北、高槻市上牧*、同・唐崎(淀川)*、島本町(淀川)*、守口市八雲わんど*、枚方市牧野北町(淀川)*、枚方市(淀川)*、三川合流*、柏原市亀の瀬(大和川)* [北河内] 生駒山* [泉州] 堺市別所*、貝塚市森*

■似ている種類と区別点

やや類似する③コハンミョウと同じような環境に見られることがあります。大きさがやや小さいことと、上翅の真ん中の帯が鋭く曲がっていることで区別します。



②エリザハンミョウ



③コハンミョウ

出現期 夏



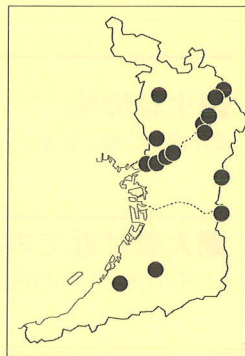
9-11 mm

ヒメハンミョウとも呼ばれます。

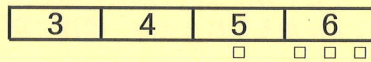
夏の河原で、よく飛びまわっています。

③コハンミョウとよく似ている上、似たような場所にいることがあるので、間違えないように模様をよく見て下さい。

なお、エリザというのは幕末に箱館(現・函館)に駐在したロシア領事・ゴシュケビッチ氏の夫人だそうです。新種記載したモチュルスキー氏がエリザ夫人に献名したものです。



■発生消長 (採集記録より)



■ : 多い □ : 少ない

③ コハンミョウ

小斑猫

Myriochile speculifera

分布

本州、四国、九州、南西諸島；台湾、朝鮮半島、中国、東南アジア。

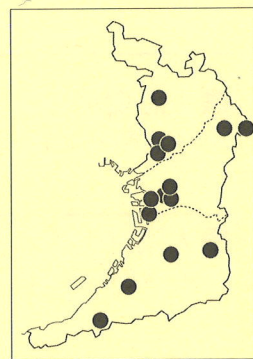
出現期 夏



11-13 mm

②エリザハンミョウに似ていますので、よく模様を見比べて下さい。

こちらの種類は水と無関係の場所でも見つかることがしばしばあり、大阪市内からも上町台地周辺や大正区で記録があります。



生息環境

河川敷、河口などのほか、平地や丘陵地の裸地・乾燥地にも見られる。

大阪付近での採集記録 (*は26~27ページにデータを掲載しています。)

[北摂] 箕面山*、豊中市少路、同・待兼山、同・上野西、同・稲荷神社、同・広田町 [大阪市内] 生玉公園*、大正区北村3*、天王寺茶臼山、天王寺区光明寺 [淀川・大和川] 大阪市淀川畔*、西淀川区矢倉町*、都島区(淀川)*、枚方大橋下流左岸(淀川)、住之江区新北島(大和川)* [北河内] 枚方市星ヶ丘*、枚方市尊延寺 [南河内] 陶器山*、河南町神山* [泉州] 貝塚市森*、泉南市新家*

似ている種類と区別点

②エリザハンミョウとは、体がやや大きいこと、上翅の真ん中の模様の角がゆるやかなことと、点が一線とつながらないことで区別できます。

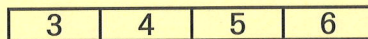


②エリザハンミョウ

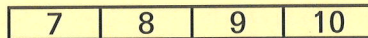


③コハンミョウ

発生消長 (採集記録より)



□ □ □ □



□ ■ ■ ■ ■ □ □ □ □ □

■ : 多い □ : 少ない

④ ヨドシロヘリハンミョウ

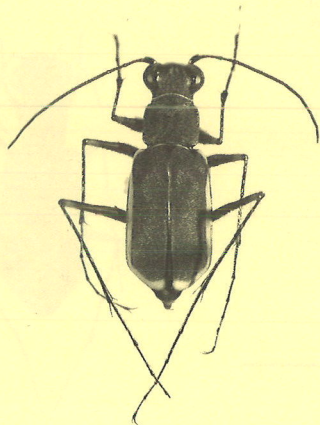
淀白縁斑猫

Callytron inspeculare

分布

本州（瀬戸内海沿岸）、四国、九州；
朝鮮半島、中国、台湾。

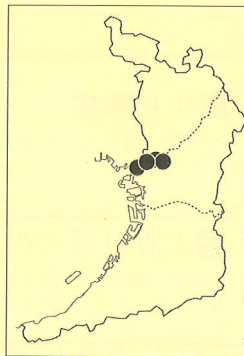
出現期 夏



9-12 mm

最初に見つかった淀川に因んで、名前が付けられていますが、大阪府では絶滅してしまったと考えられています。環境省のレッドリストでも絶滅危惧II類に選定されています。

近隣府県の大きな河川では、河口で生存が確認されています。環境が戻れば、これらのところから飛来して復活するかもしれません。



■生息環境

河口部のヨシの存在する砂泥地に生息。

■大阪付近での採集記録（*は26～27ページにデータを掲載しています。）

[淀川・大和川] 淀川河口*、十三付近*、阪急淀川鉄橋、塚本、神崎川、旭区長柄橋

■似ている種類と区別点

岩礁海岸にすむ⑤シロヘリハンミョウとは、上翅後方の縁の模様が、とぎれないことで区別します（九州以北の場合のみ）。そのほか、シロヘリハンミョウに比べて、体がやや短いことと、前胸背板の後角が出っ張らないことでも確認するとよいです（絵解き検索5ページ）。



④ヨドシロヘリ



⑤シロヘリ

■発生消長（採集記録より）



□



□ □ ■ ■ □ □

■：多い □：少ない

⑤ シロヘリハンミョウ

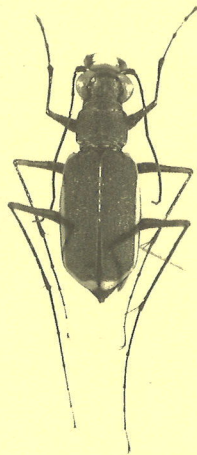
白縁斑猫

Callytron yuasai yuasai

分布

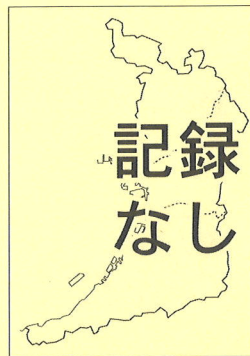
本州、四国、九州、伊豆諸島、対馬、屋久島、南西諸島；朝鮮半島、台湾。

出現期 夏



9-12 mm

大阪府では記録がありません。
可能性があるとすれば、泉南・岬町あたりの岩礁海岸ですが、近隣の他府県でも少ないようです。



生息環境

海岸の岩礁に生息。

大阪付近での採集記録

大阪府では未記録です。
近隣では和歌山県の紀伊瀬戸、白浜、日置川、稲積島、三重県の賢島などに記録があります。

似ている種類と区別点

河口干潟にすむ④ヨドシロヘリハンミョウとは、上翅後方の緑の模様がとぎれることで区別できます（南西諸島には、とぎれないものがあります）。体がヨドシロヘリハンミョウに比べて、やや細長いことと、前胸背板の後角が角張ることで区別できます（絵解き検索5ページ）。



④ヨドシロヘリ



⑤シロヘリ

発生消長（採集記録より）

3	4	5	6
---	---	---	---

□ □ □

7	8	9	10
---	---	---	----

■ ■ ■ ■ ■ □ □

■：多い □：少ない

⑥ ミヤマハンミョウ

深山斑猫

Cicindela sachalinensis

分布

北海道、本州、四国；サハリン、中国。

生息環境

標高の高い山地のガレ場、林道など。

大阪付近での採集記録

大阪府に記録はありません。
近隣では福井県、徳島県剣山に分布が知られています。

似ている種類と区別点

⑩ニワハンミョウが模様も色合いも、非常によく似ていますが、口の部分の形で区別します。詳しくは絵解き検索7ページをごらんください。

他の中～大型種の類似種とは、翅の先に模様がないことで区別できます。

出現期 夏

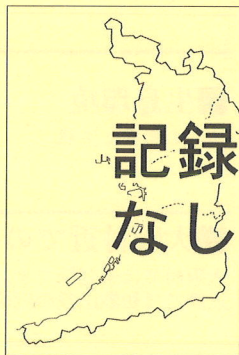


14-18 mm

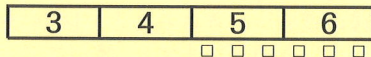
北海道から本州中部にかけて分布する種類です。西日本では唯一、徳島県・剣山に生息していることが知られています。

近畿では護摩壇山の記録がありますが、その後は確認ができていませんし、誤同定の可能性もあります。

伊吹山、氷ノ山など、近畿の高い山にいたる可能性はあるような気がしています。出現のピークは真夏ですので、登山の折などに探してみてください。



発生消長（採集記録より）



■：多い □：少ない

⑦ アイヌハンミョウ

アイヌ斑猫

Cicindela gemmata

分布

北海道、本州、四国、九州、対馬；朝鮮半島、中国、シベリア南東部。

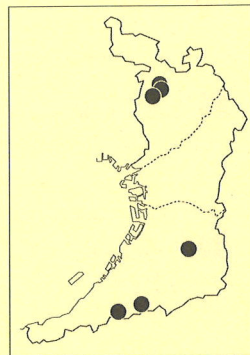
出現期 春



16-17 mm

おもに春季の河原に出現するハンミョウですが、生息が知られている所は多くありません。

本種には上翅に青い点の列があります。少しわかりにくいですが、慣れてくれば、これで確認するのが確実です。



生息環境

河川中流の川原で局所的に見られる。

大阪付近での採集記録 (*は26~27ページにデータを掲載しています。)

[北摂] 箕面*、豊能町川尻、箕面市止々呂美 [南河内] 富田林市新堂(石川) [泉州] 泉佐野市犬鳴*、岸和田市牛滝*

兵庫県では神戸市道場(武庫川)、猪名川、川西市山下(初谷川)、川西市西畦野(能勢川)などに分布記録があります。

似ている種類と区別点

大きさや雰囲気は⑪ニワハンミョウにとっても似ていますが、翅の先端に模様があることで区別できます。

模様は⑧コニワハンミョウ[10~13mm]とも、似ていますが、体がやや大きく、体型も少し縦長です。

いずれも、上翅に青い点の列があることで、本種であることを確認してください(絵解き検索8ページ)。



⑪ニワハンミョウ



⑧コニワハンミョウ

発生消長 (採集記録より)

3	4	5	6
□ □ □ □	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	□ □ □

7	8	9	10
□ □ □	□		

■:多い □:少ない

⑧ コニワハンミョウ

小庭斑猫

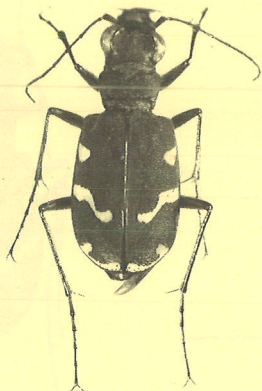
Cicindela transbaicalica japonensis

分布

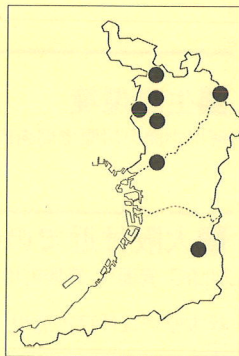
本州、四国、九州；朝鮮半島、中国、サハリン、シベリア。

出現期 春と秋

比較的良好な自然環境の残る河原にいます。春から出現しますが、夏にはエリザハンミョウに置き換わるかのように少なくなります。秋に再び、河原で多く見られるようになります。



10-13 mm



■生息環境

河川・海岸の乾いた砂地に生息。

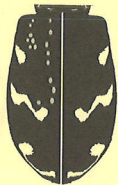
■大阪付近での採集記録 (*は26~27ページにデータを掲載しています。)

[北摂] 箕面市高山道、箕面山、豊能町余野、池田*、千里川 [淀川・大和川] 旭区赤川付近 (淀川)*、三川合流*、大和川、富田林市喜志町*、同・西条町 (石川)*

■似ている種類と区別点

同じく春の河原で見つかる⑦アイヌハンミョウ[16~17mm]が似ています。大きさの他、本種のほうが体型が少し幅広いことで区別します。最終的にはアイヌハンミョウに独特の青い点の列がないことを確認しましょう。

大阪府未記録の⑭ハラビロハンミョウとも似ていますが、上翅の中帯側紋がないことや中帯紋の曲がり方で区別できます。

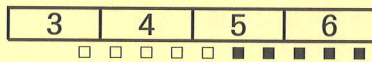


⑦アイヌハンミョウ



⑭ハラビロハンミョウ

■発生消長 (採集記録より)



■：多い □：少ない

⑨ ルイスハンミョウ

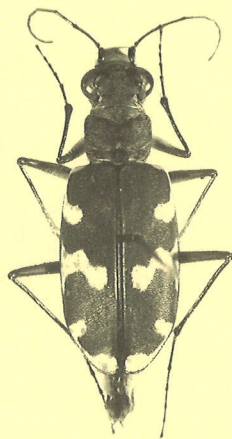
ルイス斑猫

Cicindela lewisi

分 布

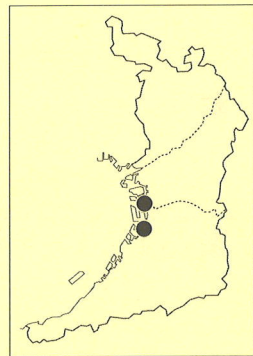
本州（中部以西）、四国、九州；朝鮮半島、中国北部。

出現期 春から秋



15-18 mm

明治の初めに日本に来て、甲虫類をたくさん採集して帰ったイギリスの貿易商、ジョージ・ルイス氏にちなんでいます。自然環境の良好な海岸にすむ種類で、大阪府ではすでに絶滅しました。



■生息環境

河口付近の砂泥地に生息。

■大阪付近での採集記録（*は26～27ページにデータを掲載しています。）

大和川河口、堺市浜寺*

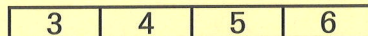
■似ている種類と区別点

中帯紋が太いことで他の種類と区別できます。⑩カワラハンミョウとは上翅のまわりがすべて白くなっていない点で区別できます。

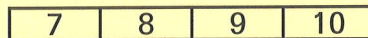


⑩カワラハンミョウ

■発生消長（採集記録より）



□ □ □ □ □ □ □ □



□ □ □ ■ □ ■ □ □

■：多い □：少ない

⑩ マガタマハンミョウ

勾玉斑猫

Cylindera ovipennis

分布

北海道（南部）、本州（中部以北）、佐渡。

■生息環境

山地の落葉広葉樹林の地表。

■大阪付近での採集記録

大阪府に記録はありません。

■似ている種類と区別点

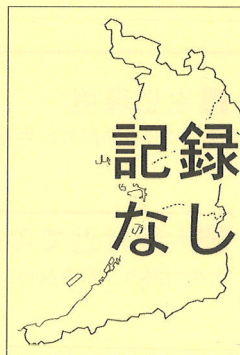
⑪ニワハンミョウなど体サイズの中～大型の種類とやや似ていますが、中帯紋が上翅の縁から離れている（怒った顔に見える）ことで区別します。上翅肩部も他の種類に比べ、「なで肩」になっています。

出現期 おもに夏

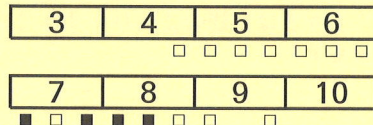


14-15 mm

中帯紋の形が古代のアクセサリーの勾玉に似ていることからつけられました。日本特産種で、⑥ミヤマハンミョウと同じく、北日本の山地にすむハンミョウです。後翅は退化して飛べません。福井県の山地までは分布していますが、西日本では記録がありません。



■発生消長（採集記録より）



■：多い □：少ない

⑫ ナミハンミョウ

並斑猫

Cicindela chinensis japonica

分布

本州、四国、九州、対馬、種子島、屋久島。別亜種が南西諸島と朝鮮半島～中国に分布する。

出現期 春から秋



18-20 mm

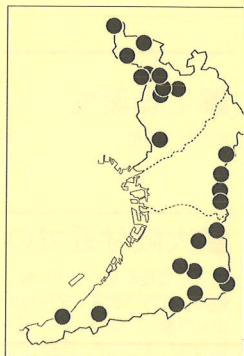
青と赤の美しい模様で、ハンミョウと
いえば、この種類かもしれません。単に
「ハンミョウ」と呼ばれることもありま
すが、この本では他と混同しないように
「ナミハンミョウ」としました。

生息環境

平地から低山地の裸地にふっう

大阪付近での採集記録 (*は26～27ページにデータを掲載しています)

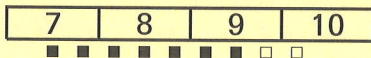
[北摂] 豊能町吉川下之町、高代寺道、青貝山付近、吉川峠、能勢町天王、剣尾山、山辺*、箕面市高山道、箕面山、箕面公園*、豊中市上野坂、茨木市泉原* [北河内] 四条畷市室池*、枚岡公園*、八尾市高安山*、坂上～信貴山東 [南河内] 二上山、延命寺、河南町持尾*、天見*、河内長野・カラク谷*、同・片添町*、岩湧山*、金剛山頂*、金剛山アシ谷 [泉州] 和泉市側川溪*、泉南市昭和池*、同市・新家*、阪南市箱作*



似ている種類と区別点

青と赤の美しい模様の種類は、南西諸島以外には他に分布していませんので、簡単に区別できます。

発生消長 (採集記録より)



■: 多い □: 少ない

⑬ ホソハンミョウ

細斑猫

Cylindera gracilis

分布

本州、四国、九州；朝鮮半島、中国東北部、シベリア。

出現期 夏

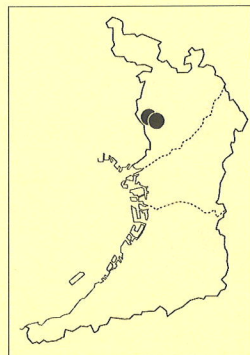


10-12 mm

大阪府では古い記録があるのみで、大阪府のレッドリストで絶滅危惧I類に選定されています。

飛ばずに、アリののようにすばやく歩きます。

上翅後半の中央に赤い紋が出るタイプもいます。



生息環境

丘陵地・山地の疎林・草原や河原の草地。

大阪付近での採集記録 (*は26~27ページにデータを掲載しています。)

豊中市待兼山、同・刀根山~待兼山間。
府外では奈良市若草山など。

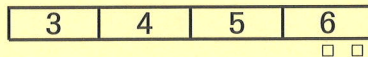
似ている種類と区別点

体が小さく細長いことから、①トウキョウヒメハンミョウと少し似ているかもしれませんが、模様で簡単に区別できます。



①トウキョウヒメ

発生消長 (採集記録より)



■ : 多い □ : 少ない

⑭ ハラビロハンミョウ

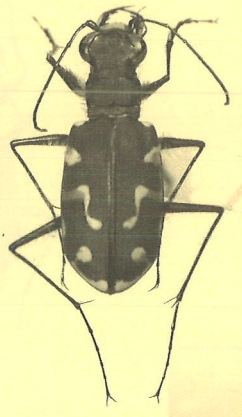
出現期 夏

腹広斑猫

Lophyridia angulata

分布

本州（中部以西の主に日本海沿岸）、九州、種子島。



12-14 mm

自然環境の残った海岸にすむハンミョウで、近畿ではごく一部にしか記録がありませんが、比較・参考のために掲載しておきます。

■生息環境

海岸河口の湿った砂地にすむ。

■大阪付近での採集記録

大阪府に記録はありません。



■似ている種類と区別点

⑧コニワハンミョウがよく似ていますが、中帯紋の曲がり方や、中帯側紋の有無で区別できます。大あごも、とても長くなっています。



⑧コニワハンミョウ

■発生消長（採集記録より）

3	4	5	6
	□ □	□ □	□

7	8	9	10
■ □ □	■ □ □	□ □	□

■：多い □：少ない

⑮ イカリモンハンミョウ

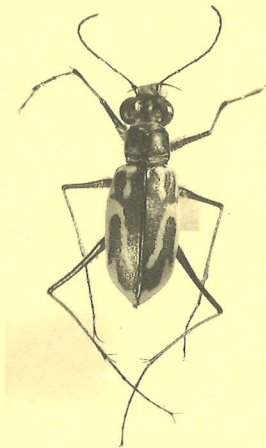
錨紋斑猫

Abroscelis anchoralis

分布

本州（石川県）、九州（南部）、種子島；
中国南部、台湾、ベトナム。

出現期 おもに夏



12-15 mm

自然環境の残った海岸にすむハンミョウで、近畿での記録はありませんが、比較・参考のために掲載しておきます。



■生息環境

細かい砂の海岸。

■大阪付近での採集記録

大阪府に記録はありません。

■似ている種類と区別点

②エリザハンミョウが曲がった模様で少し似ているかもしれませんが、よく見比べれば、紋の太さなどで簡単に区別できます。



②エリザハンミョウ

■発生消長（採集記録より）



■：多い □：少ない

⑩ カワラハンミョウ

河原斑猫

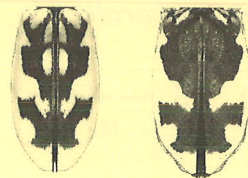
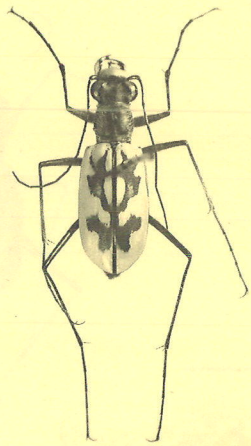
Chaetodera laetescripta

分布

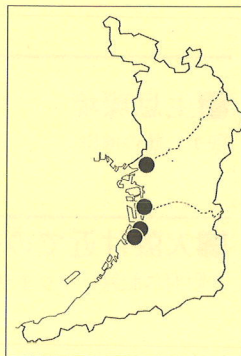
北海道、本州、四国、九州；朝鮮半島、中国、サハリン、シベリア南東部、モンゴル。

出現期 夏から初秋

良好な砂地が失われたために、生存が脅かされている種類のひとつです。大阪府では、すでに絶滅しました。環境省でも絶滅危惧II類に選定されています。



14-17 mm



生息環境

海岸砂丘、広い河原などの砂地に生息。

大阪付近での採集記録 (*は26~27ページにデータを掲載しています。)

[淀川・大和川] 淀川河原*、大和川河口 [泉州] 堺市浜寺*、高石市高師浜*

似ている種類と区別点

黒色部の多いタイプは、⑨ルイスハンミョウとやや似ていますが、本種は上翅の周囲が完全に白いことで区別できます。



⑨ルイスハンミョウ

発生消長 (採集記録より)

3	4	5	6
---	---	---	---

7	8	9	10
---	---	---	----

□ □ ■ ■ ■ ■ ■ □ □

■：多い □：少ない

引用文献

- 東浩司 2002. 豊中の甲虫相. 関西甲虫談話会資料(19), 101pp.
- 環境庁 1979. 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(昆虫類)大阪府. 102pp.
- 環境省自然環境局野生生物課 2006. 日本の絶滅のおそれのある野生生物(5). 自然環境研究センター. 246pp.
- 後藤光男 1946. 京阪神地方におけるハンミョウ相について. 近畿甲虫同好会 1(1): 1-6.
- 後藤光男 1961. 甲虫. Nature Study 11(8): 17-19.
- 林匡夫・大倉正文・河野洋・緒方正美 1958. 大阪の自然(昆虫). Nature Study 4(1): 4-5.
- 林匡夫ほか 1958. 海辺の砂地の甲虫類. Nature Study 4(7・8): 8-10.
- 枚方市 1990. 枚方市自然環境調査報告書. 枚方市. 205pp.
- 仲田元亮 1982. 増補改訂 能勢の昆虫. 著者出版. 453pp.
- 大倉正文 1957. 淀川河原の歩行虫類. Nature Study 3(11): 4-5.
- 大野正男 1997. 日本産主要動物の種別知見総覧(44)ホソハンミョウ. Field Biologist (7):36-56.
- 大阪府 1967. 箕面山の動物相調査(改訂版). 220pp.
- 大阪府 1977. 箕面川ダム自然環境の保全と回復に関する調査研究. 605pp.
- 大阪府 2000. 大阪府における保護上重要な野生生物—大阪府レッドデータブック—. 大阪府環境農林水産部. 442pp.
- 大阪市立自然史博物館 1978. 大阪の昆虫. 陸生篇I. 69pp.
- 大阪市立自然史博物館 1991. 淀川の自然. 68pp.
- 佐藤正孝 1985. ハンミョウ科. 原色日本甲虫図鑑II: 5-14. 保育社、大阪.
- Werner, K. 1991-95. Cicindelidae 1-4. Die Käfer der Welt, vols. 13, 15, 18, 20. Science Nat, France.
- 山本捺由他 2005. 関西初発見! トウキョウヒメハンミョウ. Nature Study 51(2): 12.
- 山崎一夫 1998. コハンミョウ. メッシュマップ大阪市の生き物: 175. 大阪市環境保健局.

大阪のハンミョウ・未発表データ

本書に記した大阪府での分布地・出現時期などは、文献記録と大阪市立自然史博物館の収蔵標本に基づいて作成しました。未記録の分については、個々のデータを以下に記しています。

文献記録に基づくデータは、紙面の都合上、掲載を省略しましたので、前ページに示した引用文献に直接あたってください。

②エリザハンミョウ *Cylindera elisae elisae*

大阪市淀川区西中島・淀川 (1ex., 21.viii.1988, K. Harusawa; 2exs., 1.viii.1988, K. Harusawa; 1ex., 21.viii.1988, O. Tominaga) ; 淀川区新淀川大橋 (4exs., 3.vii.1988, Y. Miyatake; 2exs., 3.viii.1988, Y. Miyatake) ; 都島区・淀川 (4exs., 16-17.vii.1993, A. Kitayama) ; 高槻市上牧・淀川 (1ex., 15.vi.1996, A. Ichikawa; 6exs., vii.1987, Y. Nishikawa) ; 高槻市唐崎・淀川 (1ex., 17.ix.1989, K. Harusawa) ; 島本・淀川 (1ex., 27.ix.1954, K. Mizoguchi) : 守口市八雲25号わんど (5exs., 6.vii.1989, Y. Miyatake) ; 枚方市牧野北町・淀川 (1ex., 25.vi.1989, K. Harusawa) ; 枚方市淀川 (4exs., 17.vii.1993, A. Kitayama) ; 三川合流 (1ex., 28.vi.1988, M. Otsuki) ; 柏原市龜瀬橋・大和川 (1ex., 8.vi.1999, A. Kitayama) ; 生駒山 (3exs., 10.viii.1958, N. Tosawa) ; 堺市別所 (1ex., 16.vi.1993, A. Kitayama) ; 大阪 (2exs., 5.vii.1955, M. Tsukamoto; 8exs., 20.vii.1955, M. Tsukamoto; 4exs., 6.viii.1955, M. Tsukamoto)。

③コハンミョウ *Myriochile speculifera*

箕面山 (2exs., 31.v.1930, C. Teranishi) ; 大阪市天王寺区生玉公園 (1ex., 8.viii.1944, K. Matsumoto) ; 大阪市大正区北村3 (1ex., 26.vi.1986, A. Ichikawa) ; 大阪市淀川 (3exs., 20.vii.1955, M. Koizumi) ; 大阪淀川 (6exs., 6.viii.1955, M. Tsukamoto) ; 大和川

(1ex., 16.v.1940, M. Goto) ; 大阪市西淀川区矢倉町 (3exs., 23.vii.1984, T. Yagi; 3exs., 28.vii.1984, T. Yagi) ; 都島区・淀川 (1ex., 16-17.vii.1993, A. Kitayama) ; 大阪市住之江区新北島 (2exs., 1.viii.2005, R. Matsumoto) ; 枚方市星ヶ丘 (1ex., v-viii.1966, Y. Okada) ; 大阪狭山市陶器山 (1ex., 5.vii.1987, K. Harusawa; 2exs., 28.vii.2000, K. Harusawa) ; 河南町神山 (4exs., 10.vii.2006, M. Yasui) ; 貝塚市森 (3exs., 12.vii.1993, A. Kitayama) ; 泉南市新家 (6exs., 30.vi.2003, S. Shiyake) ; 大阪 (12exs., 20.vii.1955, M. Tsukamoto; 2exs., 5.vii.1955, M. Tsukamoto)

④ヨドシロヘリハンミョウ *Calytron inspeculare*

淀川 (1ex., 3.viii.1936, M. Tsukamoto; 14exs., 19.vii.1955, M. Tsukamoto; 2exs., 8.viii.1955, M. Tsukamoto; 2exs., 9.viii.1941, M. Goto; 1ex., 25.vii.1951, M. Koizumi; 1ex., 20.vii.1951, M. Koizumi) ; 淀川区十三付近 (1ex., 7.viii.1941, M. Goto; 19exs., 9.viii.1941, M. Goto)

⑦アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata*

箕面 (1ex., 24.iv.1960, M. Nakagawa) ; 泉佐野市犬鳴 (1ex., 7.vi.1959, M. Goto) ; 岸和田市牛滝 (2exs., 14.v.1961, M. Goto)

⑧コニワハンミョウ *Cicindela transbaicalica japonensis*

池田 (1ex., 23.iii.1956, M. Nakagawa) ; 旭区赤川付近・淀川 (1ex., 9.ix.1985, Y. Miyatake) ; 淀川三川合流 (2exs., 24.ix.1973, M. Goto; 1ex., 25.ix.1988, K. Omori, T. Murai & K. Yamazaki; 6exs., 4.x.1981, Y. Miyatake) ; 富田林市喜志町 (2exs., 11.x.1985, K. Harusawa) ; 富田林市西条町・石川 (2exs., 1.vi.1989, K. Harusawa)

⑨ルイスハンミョウ *Cicindela lewisi*

堺・浜寺 (2exs., 2.vi.1934, M. Goto) ; 堺 (1ex., 5.vi.1936, M.

Goto)

⑪ニワハンミョウ *Cicindela japana*

能勢妙見山 (2exs., 11.vi.1939, M. Goto; 1ex., 14.vi.1959, T. Yamada; 2exs., 14.iv.1952, M. Hori); 高代寺山 (1ex., 16.vii.1973, M. Goto); 箕面 (1ex., 12.vi.1956, N. Tosawa; 6exs., 日付不明, N. Tosawa; 1ex., 17.v.1920, N. Tosawa; 1ex., 29.iv.1932, N. Tosawa; 1ex., 28.v.1932, N. Tosawa; 2exs., 28.v.1934, N. Tosawa; 2exs., 20.v.1948, N. Tosawa; 2exs., 12.v.1936, Yagi; 4exs., 31.v.1930, C. Teranishi; 1ex., 12.vi.1936, Yagi; 1ex., 22.v.1967, I. Hiura); 豊能町妙見口～箕面市下止々呂美 (1ex., 13.v.1994, I. Kanazawa); 茨木市竜仙峡 (1ex., 13.vi.1999, T. Wada); 生駒山辻子谷 (1ex., 22.v.1981, M. Kawai); 東大阪市枚岡公園 (1ex., 26.vi.1975, K. Harusawa; 1ex., 13.viii.1976, K. Harusawa); 十三峠～信貴山 (1ex., 23.vi.1957, I. Hiura); 柏原市雁多尾畑～本堂 (1ex., 10.iv.1975, K. Harusawa); 二上山 (1ex., 14.iv.1952, M. Hori); 富田林市甘南備金剛コロニー (1ex., 19.v.1995, K. Harusawa); 河南町河内 (1ex., 27.v.1953, I. Hiura); 河南町青崩 (2exs., 5.v.1979, S&T. Fujii); 河南町平石峠 (3exs., 22.v.2006, R. Matsumoto); 河内長野市小深 (1ex., 3.v.1979, M. Yasui); 河内長野市清水～惣城 (1ex., i.vi.1964, I. Hiura); 河内長野市片添町 (2exs., 20.iv.1966, I. Hiura); 河内長野市天見～棒谷 (1ex., 8.vii.1981, K. Harusawa); 河内長野市天見 (1ex., 19.v.1957, I. Hiura; 1ex., 9.vi.1981, K. Harusawa); 河内長野市岩瀬トリコ谷～クヌギ峠 (1ex., 25.iv.1971, I. Hiura); 河内長野市カラク谷 (1ex., 12.vi.1984, M. Goto); 河内長野市延命寺 (1ex., 12.vi.1984, K. Harusawa); 河内長野市府庁山 (1ex., 2.iv.1989, K. Harusawa); 河内長野市天野山 (1ex., 7.vii.1988, S&T. Fujii); 岩湧山 (2exs., 22.vi.1942, M. Goto; 1ex., 30.v.1954, M. Goto; 2exs., 18.v.1958, O. Tsujimoto; 5exs., 21.v.1953, S. Sagimoto; 1ex., 29.v.1953, S. Sagimoto; 1ex., 20.iv.1986, K. Harusawa); 金剛山アシ谷 (2exs., 10.iv.1962, I. Hiura); 金剛山ノロ

シ台 (1ex., 15.viii.1964, I. Hiura); 金剛山 (1ex., 10.vii.1960, M. Koizumi; 2exs., 20.vii.1960, M. Koizumi); 和泉市側川溪 (1ex., 1.v.1969, I. Hiura); 岸和田市牛滝 (1ex., 18.v.1961, Y. Shibata & K. Seto); 岸和田市牛滝ササユリ谷 (1ex., 18.v.1961, H. Hiura); 泉佐野市犬鳴 (1ex., 29.vi.1979, I. Hiura)

⑫ナミハンミョウ *Cicindela chinensis japonica*

能勢町山辺 (1ex., 23.vi.1963, I. Hiura); 箕面市箕面公園 (2exs., 14.vi.1975, Y. Nishikawa); 箕面市勝尾寺～箕面滝; (1ex., 14.iv.1971, K. Harusawa); 茨木市泉原 (1ex., 30.v.1971, I. Hiura; 1ex., 3.x.2006, S. Shiyake); 四条畷市室池 (1ex., 13.viii.1977, E. Mukai); 東大阪市枚岡公園 (1ex., 3.ix.1974, K. Harusawa); 八尾市高安山 (2exs., 1.x.1964, I. Hiura); 河南町持尾 (1ex., 1.xii.1963, I. Hiura) [土中]; 河内長野市カラク谷 (1ex., 30.iv.1984, M. Goto); 河内長野市片添町 (1ex., 20.iv.1966, I. Hiura); 河内長野市天見～棒谷 (1ex., 9.vi.1981, K. Harusawa); 岩湧山 (2exs., 21.v.1953, S. Sagimoto; 1ex. 10.viii.1953, S. Sagimoto); 千早赤阪村金剛山・香楠荘 (1ex., 3.ix.1978, S&T. Fujii); 金剛山アシ谷 (1ex., 20.iv.1962, I. Hiura); 和泉市側川溪 (3exs., 27.viii.1976, Y. Fujita); 泉南市昭和池 (1ex., 23.v.2003, S. Shiyake); 泉南市新家 (11ex., 24.vii.2003, S. Shiyake; 5exs., 1.viii.2003, S. Shiyake; 2exs., 22.ix.2003, S. Shiyake); 阪南市箱作 (9exs., 1.ix.1993, A. Kitayama); 阪南市 (1ex., 14.v.1993, A. Kitayama)

⑬カワラハンミョウ *Chaetoptera laetescripta*

淀川 (1ex., 1.viii.1935, K. Yagi; 10exs., 20.ix.1964, M. Goto; 7exs., 12.ix.1964, M. Goto; 4exs., 5.viii.1968, M. Goto; 2exs., 10.ix.1966, M. Goto); 堺市浜寺 (1ex., 24.viii.1934, K. Seki); 高石市高師浜 (1ex., 28.viii.1934, K. Seki; 2exs., 11.vii.1933, H. Takiguchi); 大阪 (1ex., x.1939, J. Naganuma; 3ex. Viii.1939, J. Naganuma)

ミニガイド No.22

「大阪のハンミョウ」

The tiger beetles of Osaka

大阪的虎甲

著者：初宿 成彦（大阪市立自然史博物館・昆虫研究室）

Shigehiko SHIYAKE

発行：2007年3月31日

© Osaka Museum of Natural History, 2007

The *Tiger* Beetles of Osaka

TOKYO-HIME

1

ELIZA

2

KO-HANMYO

3

YODO-SHIROHERI

4

AINU

7

KONIWA

8

LEWIS

9

NIWA

11

NAMI

12

HOSO

13

KAWARA

16



